

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第3号 2015年7月13日 発行

ベーシック・ラボラトリの授業について

本年度も、学校設定科目「ベーシック・ラボラトリ」の授業が行われています。「ベーシック・ラボラトリ」は、実験器具の基本操作や実験結果のまとめかたを習得し、観察や実験を通して理数に対する興味関心を高めることが目的です。

3時間連続の実験を通して、時間をかけてじっくりと実験し、結果をまとめ考察する授業を実施しています。5月上旬には化学実験「混合物の分離と精製」、5月下旬には物理実験「重力加速度の測定」、6月下旬に生物実験「顕微鏡での長さの測定」を実施し、現在は4回目のベーシック・ラボラトリで化学実験「化学反応と量的関係」が始まりました。

本年度は他に物理実験が2回、化学実験が1回、生物実験が1回、地学実験が2回そして数学(化学)が1回予定しています。そして、全11回のベーシック・ラボラトリを通して、「水沢高校の理数の世界」に興味を持ってほしいと思います。



授業後の感想

- ・ BLの授業を受けてみて、「理科って楽しい!」と思いました。中学校までは理数系が苦手だった私にとって、理科を少しずつ好きになることができ嬉しかったです。今までは理由を考えずにただ暗記していたので、これからは「なぜ」「どうして」をもっと追求していきたいです。
- ・ 小学校から使っていた光学顕微鏡で新しい観察のしかたを学ぶことができた。今までは積極的に行う方ではなかったが、一人ひとりに実験器具を与えられて行う授業は新鮮で、有意義なものになった。しっかりと実験の技能を身につける事ができたので良かった。